

授業改善の 実際

小学校図画工作科 第5学年

題材名「のぞいてみると、○○な世界」

〔A表現〕(1)イ (2)イ〔B鑑賞〕(1)ア〔共通事項〕(1)ア、イ

本資料は、PDCAサイクルを意識した授業改善の実際について、特にCheck（評価）の段階とAction（改善）の段階に焦点を当てています。児童の状況を踏まえ、CheckをActionへつなげていくための具体をまとめました。

題材について

目指す児童の姿



○形や色、奥行き、光などの特徴を理解し、材料や用具を工夫して表すことができるようにしたい。

○表したい世界を表現する活動を楽しんだり、友人の作品のよさを見付けたりできるようにしたい。



○自分なりのイメージをもった上で、表したい世界をどのように表現するかを考えられるようにしたい。

題材の目標

- 箱に穴を開けて、光が差し込む様子を見ながら思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を理解する。
 - 表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。
- 光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の質感や特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。
 - 自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。
 - 形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。
- 主体的に光が差し込む箱の中をのぞいて思い付いたことを表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・箱に穴を開けて、光が差し込む様子を見ながら思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を理解している。 ・表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	・形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の質感や特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 ・形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい光が差し込む箱の中をのぞいて思い付いたことを表現したり鑑賞したりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。

指導と評価の計画

○…題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。【指導に生かす評価】
 ◎…題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し記録に残す。【記録に残す評価】

時	ねらい・学習活動	評価の観点、評価方法等				備考
		知	技	思	鑑	
1	・箱に穴を開けて、光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、どのように主題を表すかについて考える。	○ 観察 対話		○ 観察 対話 ワーク シート		第1時は、記録に残す評価はしないが、「知識」と「思考・判断・表現（発想や構想）」の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かす。
2	・光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、どのように主題を表すかについて考える。	◎ 観察 対話 作品	○ 観察 対話 作品	◎ 観察 対話 作品 カード		第2、3時を通して、「知識」、「技能」、「思考・判断・表現（発想や構想）」の視点で児童の学習状況を把握し、記録に残す。
3	・形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	◎ 観察 対話 作品				
4	・自分たちの作品を見合い、よさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。			◎ 観察 対話 ワーク シート	◎ 観察 対話 作品 ワーク シート	第4時は「思考・判断・表現（鑑賞）」の視点で児童の学習状況を把握し、記録に残す。また、「主体的に学習に取り組む態度」は、活動全体を通して把握し、最後に記録に残す。

*授業改善の実際について、第2・3時、第4時を取り上げて説明します。

授業の実際

児童の学びの状況を把握し、指導に生かす

1 表現の活動において



【第1時のねらい】

箱に穴を開けて、光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、どのように主題を表すかについて考える。

◎第1時の学習活動の様子

箱の中につくってみたい世界は、どのような世界ですか？その世界を、何の材料を使ってどのように表したいのかを考えましょう。

(活動中の児童のつぶやき)



ばくは、夜空の世界をつくってみたいな。次の時間は雲をつくろう。

*第1時のねらいに即して見取った視点



(ワークシートの振り返りの記述)

わたしは、空ににじがかかっている感じにしたいです。次は、いろいろつくって箱の中にかざりをつけたいです。



(箱の中をのぞいて考えている様子)

Check

児童のつぶやきや振り返りの記述から、表したい主題を見付けることができているのは分かる。しかし、Bさんの「いろいろつくって」という振り返りの記述やほかの児童の振り返りの記述を見ると、何の材料を使ってどのように主題を表すか、具体的にイメージできているのかわからない。



児童のつぶやきや振り返りなどから把握した児童の学びの状況を基に、第2・3時の導入において、造形的な特徴について学級全体で共通理解を図ることにしました。児童が造形的な特徴を意識することにより、自分の表したい主題を表すことができるようにしました。

【第2・3時のねらい】

- ・光が差し込む箱の中をのぞいて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、どのように主題を表すかについて考える。
- ・形や色、奥行き、光などの造形的な特徴を基に、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。

□第2・3時の導入

【造形的な特徴について学級全体で共通理解を図る】

Action

ワークシートを見て前の時間の活動を振り返りましょう。「このような世界をつくりたいな」と考えましたね。その世界を表すために、使いたい材料を書いている人もいました。Cさんは、どのような工夫をしようと思っていますか。



青いセロハン紙に光を当てて、青い光で空を表したいです。 *造形的な特徴を意識している点見取った箇所

Cさんは空の色を表すために、材料に青色のセロハン紙を使うのですね。色と光の工夫も考えていますね。みなさんはどのような工夫ができそうですか？



Cさんと同じように色セロハン紙を使いたいです。色セロハン紙を重ねた穴を通る光の色で、晴れた空の雰囲気を表したいです。 *児童の学習改善が見られたと判断した箇所



紙粘土に色を付けて、海の生き物をつくらうと思います。



光が差し込む穴を窓にして、うさぎの部屋をつくれます。柔らかな手触りのわたやお花紙を使ってつくってみたいです。



アルミホイルを丸めてひもで吊るしたら、星ができそうだからやってみみたいです。



みんなのように、何を使って表すのかまでは考えていませんでした。ふわふわした雲を表すために、白いわたを使いたいです。

なるほど。みなさんの考えをまとめると、材料の特徴を生かして、形や色、光などを考えながら、表し方の工夫ができそうですね。それらの工夫に加えて、「絵に表す活動」の学習で見付けた奥行きを感じる工夫も考えられそうです。では、今日のめあてを確認しましょう。

【造形的な特徴について学級全体で共有する(板書)】

④ 自分が表したい箱の中の世界を、材料や方法を工夫してつくらう。

材料 形 色 光 おく行き

□第2・3時の展開



(箱の中をのぞいて確認する様子)



前時の振り返りに「いろいろつくって」と書いていたBさんは、造形的な特徴に着目し、使いたい材料を選んで表現することができているだろうか。確認しよう。

(活動中の児童Bと教師との対話)

Bさんは、何度も何度も箱の中をのぞいていますね。どうしてですか？

雲の向こう側に虹がかかっているような世界にしようと思っています。虹を針金とビーズで作りました。箱の中をのぞいて光と虹の場所をどこにしようかと考えています。

材料、光、奥行きに着目していますね。Bさんの表したい世界になりそうですね。また来るので、そのときに見せてくださいね。



(光の反射を生かして表現する様子)



(活動中の児童Cと教師との対話)

Cさんは、アルミホイルを使っているのですね。どうしてですか？

箱の中にアルミホイルと色セロハン紙を敷くと、上から差し込む光が反射して、箱の中全体がきらきらと光り、表したいと思っている「ダンスパーティー」の世界が作れるからです。

なるほど！光が反射する工夫を取り入れたのですね。すてきな表現ですね。



(奥行きを考えながら活動している様子)



(活動中の児童のつぶやき)

妖精を主役にしたいから、光が当たるようにしましょう。妖精を置く場所は、手前はどうか。それとも奥かな。

児童との対話や活動中のつぶやきから、児童が造形的な特徴を意識して、自分の表したい世界を材料や方法を工夫してつくりようとしている姿を見取ることができると確認しよう。

□第2・3時の作品カードの記述

(作品カードの記述)



【題名】きらめくようせいの世界
【工夫したところ】
ビーズが光って見えるように、かざる場所を何度も調整した。雲が2色に見えるように、穴を2つにした。雲を全体に広げたらほかのかざりが見えなくなったので、おくにつめて、おく行きを考えた。



【題名】夜空のオーロラ
【工夫したところ】
月の形を丸にした。オーロラを工夫した。

*造形的な特徴を意識している点見取った箇所

*造形的な特徴を意識していることが記述からは読み取ることができない点見取った箇所

Check

作品や児童との対話、作品カードの記述から、多くの児童が「造形的な特徴」を意識して活動することができるようになったことが分かる。しかし、作品カードの記述には表れていない児童もいるようだ。

第4時の導入では、もう一度、鑑賞をする際の視点として造形的な特徴を確認しよう。そのあと、児童の学びの状況を見取り、状況に応じて支援を行う。

児童の学びの状況に基づき、第4時では、児童が材料の使い方、形や色、光、奥行きなどの工夫に着目して鑑賞することができるような発問をすることにしました。また、児童の学びの状況に応じて、個別に支援を行うことにしました。

2 鑑賞の活動において

【第4時のねらい】

自分たちの作品を見合い、よさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。

□第4時の導入

今日は自分たちの作品を鑑賞する学習です。鑑賞とはどのようなことですか？



見る！



作品を見て、感想を伝える。



感想やどう思うかを伝える。

【児童のつぶやきを基に、本時のめあてを設定する】

そうですね。それでは今日のめあては何にしますか？

友達の作品のよいところを見付けよう。



工夫しているところも見付けて伝えたいな。



あ、それいいね。

めあて 友達の作品のよいところや工夫しているところを見つけて伝えよう。

【造形的な特徴について学級全体で共有する】

Action

では、自分の作品カードを見てください。工夫したところは書けていますか。また、工夫のポイントが5つありましたね。覚えていますか？



材料や形、色の工夫…光の工夫もありました。

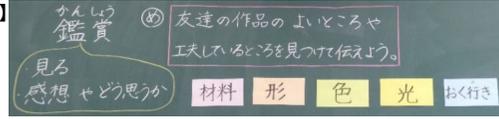


興行きも工夫のポイントでした。

そうですね。材料、形、色、光、興行きの5つの工夫がありましたね。自分の作品カードに工夫したところは書けていますか？書き加えたい工夫したところがある人は書きましょう。友達の作品を鑑賞するときにも、この5つのポイントを意識して見たり、作品カードを確認したりして、たくさんよいところや工夫しているところを見つけて伝えましょう。



【造形的な特徴について学級全体で共有する(板書)】



□第4時の展開

(1)Action 後、学習改善が見られた場面

①作品カードに工夫の具体を書き加える児童

(第2・3時の作品カードの記述)

【題名】いろいろな道
【工夫したところ】
折り紙で花をつくりました。あなの形を工夫しました。また、どうしたらこんな色になるかなど考えながら、光の色を工夫しました。



(加筆した作品カードの記述) *児童の学習改善が見られたと判断した箇所

【題名】いろいろな道
【工夫したところ】
折り紙で花をつくりました。あなの形を三角や四角にしました。また、どうしたらこんな色になるかなど考えながら、色セロハン紙に光を当てたり重ねたりして、照らす場所が箱の中に入る光の色が変わるように工夫しました。

②鑑賞の視点と作品カードの記述を基に、友人の作品を鑑賞する児童

鑑賞の視点を意識して鑑賞することができているか、児童に話し掛けて確認しよう。

(活動中の児童Gと教師との対話)

Gさんは、Aさんがどのような工夫をしたのかを見付けられましたか。



始めは、作品を見てすごいなと思っても、どんなところがすごいのか見付けられませんでした。でも、「5つのポイントを意識したり、作品カードを確認したりして鑑賞するとよい」と先生が言っていたので、そのようにしてAさんの作品カードを見てみました。



作品カードを確認したのですね。作品カードには、Aさんがどのような工夫をしたのか書かれていましたか。



はい。Aさんの作品カードを見てみると、「白いわたでつくった雲に、3つの穴から赤と青と白の光が当たるようにして、いろいろな色で雲を照らせるように工夫をしました。いろいろな穴からライトをつけると美しいです」と書かれていました。



作品をのぞいてみると、白いわたに光が当たってきれいでした。光を照らす場所によって色が変わるところもすごいなと思いました。わたや光の工夫を見付けました。



光の色や強さ、当て方について、Aさんが工夫した表現のよさを感じたのですね。その気持ちを、Aさんに伝えましょう。



はい！

(付箋の記述)

白いわたに光が当たってきれいですね。光を照らす場所によって色が変わるところもすてきだね。

(2)Action 後、個別の支援を行うことが必要だと判断した場面

Eさんは、作品カードに「オーロラを工夫した」としか記入していなかったな。造形的な特徴を意識しているか、活動の様子を観察しよう。



(グループ活動での発表)

ぼくは、オーロラを工夫してつくりました。



Check

Eさんの発表と作品カードからは、どのような工夫をしたのかグループの友人に伝わっていないな。具体的な工夫を尋ねて、工夫したところをグループに伝えることができるようにしよう。



【工夫の具体を尋ねる】

Eさんは、オーロラの表し方を何度も試しながらつくっていましたが、どのような工夫をしましたか。



Action

オーロラを折り紙とお花紙の2種類の青い紙を使って表したところ。それから、手前に月をつくって、月に光が当たるようにしました。



ああ！2色のオーロラの工夫がすてきだね！月に光が当たって輝いているね。



なるほど。だから作品名が「夜空のオーロラ」なのですね。ぜひ、みなさんに紹介してください。



(全体での発表)

2種類の青い紙を使ってオーロラをつくりました。手前に月を置くことで、光が当たるように工夫しました。



形や色、光や興行きなどに目を向けて、自分の作品の工夫したところや友人の作品のよさを、自分の言葉で伝えようとし、進んで鑑賞活動をしているな。このあとも、ほかのつまずきがないか確認して個別に支援したり、共感的な声掛けをしたりしよう。



□第4時の振り返り

友達からの気付きが書かれた付箋を読んで、思ったことを発表しましょう。そして、今日の鑑賞の学習や、「のぞいてみると、○○の世界」の学習を通した振り返りをしましょう。



濃い青色の折り紙と薄い青色の柔らかいお花紙の2色の青を使ってつくったオーロラの工夫に、友達がたくさん気付いてくれたのでうれしかったです。



*第4時のねらいに即して見取った視点

(振り返りの記述)

友達の作品を見て、世界に合った光や色、材料など、いろいろな工夫をしていて面白かった。これからは、わたしもいろいろな工夫をしながら、面白くて楽しい作品をつくってきたいです。

みんなの工夫がそれぞれで、色セロハン紙はって色を変えたり、ビーズを使ったりするところが面白い工夫だなと思いました。

友達の作品を見て、自分とはちがう材料の使い方や、おく行きを感じるよい工夫がありました。友達の作品から学ぶことがたくさんあったので、かんしょうをしてよかったです。

題材全体を通して、造形的な特徴を意識して表現したり鑑賞したりすることができるようになった。今後の題材においても、児童が授業のねらいを意識して活動することができるような授業づくりを行おう。



次のPlanに生かすために

・題材や1単位時間の授業において目指す姿を見据えて、児童の学びの状況を見取る

題材全体や1単位時間の授業において育てたい資質・能力を明確にし、児童が自身の学びを振り返る機会を設定したり、児童の学習状況をつぶやきや対話、作品、ワークシートなどから多面的に見取ったりすることで、児童の学習の成果と教師の指導を評価する。

・題材の目標又は1単位時間の授業のねらいに即した授業の展開や学習活動などについて見直し、改善を行う

児童の学習状況及び実践での気付きや課題を記録しながら、Planの段階で作成した指導と評価の計画や授業の手立てを随時見直し、児童の資質・能力の育成につながる継続的な授業改善につなげる。

*授業づくりの参考に、「学習指導プラン」、「題材デザイン FIRST STEP_R7版」を御覧ください。